



Rotary International District 2800 山形西ロータリークラブ会報

会長：鈴木 浩司 幹事：海和 浩運

地区目標

元気なクラブづくりのために「ロータリーの木」の苗木を植えましょう、クラブに、地域社会に、世界に、次世代のために

クラブテーマ

「ロータリーを発信しよう」一人ひとりの感性で

- ◆点鐘：鈴木 浩司 会長 ◆ロータリーソング：国歌・蔵王を仰ぐ
- ◆司会：伊庭 公也 副 S.A.A. ◆会場：山形グランドホテル

Yamagata West Rotary

第2873回例会

令和2年3月2日(月)

会長挨拶

鈴木 浩司 会長



皆さま、こんにちは。大変な状況の中、ご出席を賜りまして感謝を申し上げます。ガラガラだったらどうしようかなと考えておりましたが、ありがとうございます。

連日ニュースもすべてコロナウイルス関係です。先週、安倍首相が自ら記者会見を開いて、その趣旨を説明されました。爆発的な感染を防ぐためには、いろんな制約があるのは仕方ないのかなと理解をしておりますが、逆に過剰な反応になれば、いろんな形で経済活動に影響が出てくるのかなと考えております。

われわれ経営者は、注意をしなければならないのは、情報の中にはいろんな形で嘘の情報もあったり、必要以上の過剰な反応というのがあったりします。トイレトペーパーも、あれほど首相が国内で生産してるから大丈夫だと言っても、ないそうです。うちの息子から電話かかってきて、トイレトペーパーを1カートン持ってきてくれと言われて、今朝、会社で渡しましたが、やはり人間は不安になると、いろんな情報に惑わされてしまう、冷静に考えればどうってことないことを、過剰反応してしまう、と。

われわれ経営者は冷静に判断をして、きちんとした道筋を示していくことが1番大切なのかなと思っております。皆さま各会社において、冷静な判断をして、的確な指示を出していただいて、安心して仕事していただけるような環境を整えるのが非常に大切だと思います。

過剰な反応で夜の町は灯が消えたようである、といえます。飲み屋に行きましたら、ママさんから悲痛なお声を聞きました。大勢の会合でなく、個人的な会合は安全面に考慮しながら開いていただいて、多少なりとも町に貢献していただくことも必要のかなと考えております。それぞれのお立場でいろんな考えを持ちながら行動していただければと思います。

ロータリーの活動については、基本的に例会は、やることにしようということで7ロータリークラブで合意をしております。参加につきましては、各個人のご判断でよろしく願います。なお、本日理事会がありますので、皆さんのご意見を聞きながら今後については進めてまいりたいと思います。

暗い空気が1番感染を蔓延させるかもしれないので、ぜひわれわれロータリアンは明るい気持ちで仕事なり社会活動をしていただければと思います。

幹事報告

海和 浩運 幹事

●先週、会員の皆さまへ「コロナウイルスに関するロータリー活動のお知らせ」ということで、ファックスをお送りさせていただきました。会長からも今お話をしましたように、コロナウイルスの報道で持ち切りですが、7日に予定しておりました西風会もこのような背景から延期をすることとなりました。なお、現時点でございますが、来週月曜日、9日になりますけれども、職場訪問例会、こちらのほうは予定どおり開催することとしております。

●先月皆さまにご案内させていただきました、スワンヒルのホストファミリーの募集についてですが、こちらが予定を上回る募集があったということで、無事にホストファミリーも決まったようでございます。ご協力ありがとうございます。

●事務局の小関さんに、ご不幸ありまして、今日と明日、2日間だけお休みとなりますので、ご承知おき頂きたいと思っております。

委員会報告

職業奉仕委員会

三沢 大介 委員長

来週の3月9日、やまぎん県民ホールの見学例会を予定どおり実施していきます。

管理している山響さんを通じて今回の例会を進めさせていただいておりますけれども、山響さんからは本日付けで、特に山形県の使用についての制限はないということでしたので、予定どおりということなのですけれども、1点、皆さまにご案内しておりました駐車場の利用についてなのですが、まだやまぎんホールさんが正式に開場していないということで、なかなか駐車場がわかりにくいとかですね、もっと周辺にたくさん駐車場があるということで、その時の駐車場の料金に関しては、各々お支払いいただいて、次回以降の例会時に、レシートを持ってきていただければ、その場で現金でお引替えという形で対応させていただきます。この件に関してはまた改めて紙面で皆さまにファックスさせていただきますので、来週3月9日の移動例会、どうぞよろしく申し上げます。

職業交流委員会

佐藤 啓 委員長

今週7日、土曜日に予定しておりました西風会、西北戦の麻雀大会が、残念ながら延期ということになりました。北ロータリークラブさんからも、たくさんの申込みがありまして、盛大に開催できる予定でありましたけれども、大変残念であるのですが、ご時世でございますので、よろしくお願いします。

また、開催できる時期になりましたら、改めまして皆さまにご案内させていただきたいと思っておりますので、その際はお申込み、ご協力のほうよろしくお願いたします。

親族・家族委員会

会員の方が8名、奥様が9名、3月に誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

結城和生さん



「RCスキー交流会」(天童RC主催)に参加して
2020年2月2日蔵王中央ゲレンデ三五郎小屋前にて
右から、遠藤靖彦君、伊庭公也君、結城和生君の3君参加

ニコニコBOX

〈3月2日〉

中山眞一さん/飯野社長さんのご来訪を歓迎いたします。

武田秀和さん/シンガポール営業に行ってきました。

このご時世ですが、先週火曜日から金曜日までシンガポールに営業に行ってきました。いつもよりは人が少ないとのことでしたが、欧米系を中心に、飲食店も賑わっていました。おかげさまでアジアのレストランTOP 50で、2019年、第40位に入った「Waku Ghin」様のメニューリストにも採用させていただき、実のある出張になったので、ニコニコさせていただきます。

本日の献立



ゲスト卓話

「TRYパートナーズ株式会社の 事業戦略について」

TRYパートナーズ株式会社
代表取締役社長

飯野 直 氏



皆さま、こんにちは。私はTRYパートナーズ株式会社の代表を務めさせていただいております飯野と申します。よろしくどうぞお願い申し上げます。

私は平成7年の銀行に入行しております。昭和47年生まれで、今47歳ということで、鈴川支店というお店を皮切りに、約10カ店舗、現場一筋で回ってまいりまして、昨年の9月末まで川西町にあります小松支店というところの支店長を務めさせていただいて、10月の人事異動で営業企画部に異動ということで、今回のプロジェクトをやりたいとのことで、あくまでも代表取締役ということでございますので、完全な当て職なんですけれど、銀行がこういう事業を考えているなんてことも全然わからないまま、代表をやれということで、今回地域商社の立ち上げ、こちらをやることになりました。

本日、私からは「TRYパートナーズ株式会社の事業戦略について」と題しまして、当社の概要や事業計画についてご説明をさせていただきたいと思っております。

はじめに当社設立の経緯についてご説明をさせていただきます。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によりますと、山形県の人口につきましては、総人口、生産年齢人口ともに減少の一途をたどっておりまして、2030年には総人口が100万人を、生産年齢人口は50万人を割り込むという見通しになっております。

また、2045年の総人口は、76万8千人と、2015年対比では約35万人ぐら이가減少して、減少率では30%を超える推計という形になっております。

市町村別に見ますと、2045年の総人口において、2015年対比ではありますけれども、50%以上減少する市町村が、全35市町村中14市町村となりまして、山形県の経済規模や経済活動にとって大きな影響を与えることが予想されます。特に最上地域や置賜地域の減少が著しく、山形県内においても人口の都市集中化が進むことが予想されているというような状況です。

このような状況を踏まえまして、山形銀行では、政府が地方創生を重要課題と掲げる以前から、地方の取り組み強化を経営の重点課題といたしまして、地域経済活性化の取り組みを継続してまいりました。

2018年4月からスタートしております長期経営計画においても、3つの重点課題の1つ、お客さま、地域、山形銀行の未来を作るため、山形成長戦略室や営業店が中心となって、山形成長戦略の推進、地域活性化への取り組みを進めてまいりました。

特に山形成長戦略につきましては、プロジェクト開始から約7年が経過いたしまして、県内各地で活動が具体的な成果として表れております。

ここで、成長戦略プロジェクトについて若干ご説明をさせていただきます。山形成長戦略プロジェクトは、地域の経済の活性化なくして山形銀行の成長・発展はないという共通理

解のもと、2012年の7月に立ち上げました。同プロジェクトの目的は、山形県と山形銀行のために銀行自らが主体となって新たなビジネスを創造して、地域経済の活性化につながる活動を展開することでした。

プロジェクト開始当初に、まず仮説検証を行いまして、製造業の復興とヘルスケアビジネスの創出に優先的に取り組むことにしております。

製造業の復興におきましては、インキュベーションパークの構築を掲げまして、主に鶴岡の慶応義塾大学先端生命科学研究所を中核としたバイオ関連の集積、米沢・飯豊における山形大学工学部を中心とした電池デバイス関連産業の集積に取り組んでおります。

また、ヘルスツーリズムの創出においては、温泉やワインなどの地域資源を最大限に活用した交流人口の創造に取り組んでおります。主に鶴岡と米沢・飯豊、上山のモデルでございます。

今の成長戦略プロジェクトの現状ですが、はじめに鶴岡で、慶応先端研から誕生しましたベンチャー企業が、スパイバー社とかですね、HMT、ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社という会社ありますけども6社立ち上がっております。

また産業集積に伴いまして町づくりの動きが活発しておりまして、民間企業を中心となってホテルや住居、教育施設などの整備が進んでおります。山形銀行ではその取り組みに対しまして協議会を通じて出資などもさせていただきながら主体的に関わっておりまして、一連の取り組みの結果、現在までに約450名強の雇用創出につなげているという状況です。

米沢・飯豊におきましては、リチウムイオン電池に関する研究所の立ち上げをご支援いたしまして、山形銀行の中堅行員を代表取締役として派遣しております。また飯豊町内にリチウムイオン電池部材の会社を立ち上げまして、量産に向けた準備を今進めているところでございます。

さらに上山につきましては、プロジェクト開始当初から山形銀行の行員を上山市役所内に常駐させまして、上山を滞在型温泉保養地、いわゆるクアオルトとしてPRすべく、大手保険会社と連携を通じながら、滞在型健康増進ツアーを開催するほか、クアオルト構想の拠点となる整備に取り組んでおります。

ほかにも川西町の「生涯活躍のまち基本構想」の策定から関与しまして、今まさに現実に向けたお手伝いをしている状況でございます。

これらの取り組みを通じまして、プロジェクトにおいて取り組み開始から約6年の18年9月時点で、山形銀行の資産で新規の雇用創出が500人超、交流人口が1万9,000人の増加、県内GDPが300億円の押し上げといった成果を実現しているという状況でございます。

成長戦略プロジェクトを開始してから約7年が経過しておりますが、この間地域やお客様からもっと具体的に営業活動や販売活動に関わってほしいというようなご意見を数多く頂戴しまして、山形銀行では地域の皆さまのご期待に応えるべく、地域商社事業とコンサルティング事業を兼営する会社を立ち上げることにいたしましたわけでございます。

当社のTRYパートナーズ株式会社の事業概要についてご説明をさせていただきます。当社は山形銀行本店内に昨年の12月9日に設立をいたしました。資本金は1億円で山形銀行の100%出資のもと設立をしております。金融機関が100%出資して地域商社事業を営む企業を設立したのは全国初めてのことで、4月の開業を目指して今準備をしているところで

が、当初10名程度を予定しておりまして、3月の中旬の人事異動で、私以外の人員が発令なる予定でございます。

当社の会社名の一部である「TRY」T、R、Yですけれども、成長戦略プロジェクトを立ち上げた時の頭文字である「Team Rising Yamagata」という山形を成長発展させるチームということで、頭文字を取って「TRY」という名前を付けております。

事業コンセプトにつきましては、共働・共創・共栄ということで、地域とお客様と行動を共にすることで、山形という地域やお客様の価値を創造して成長発展していくことを理念として掲げております。

TRYパートナーズの主力事業につきましては、地域商社事業とコンサルティング事業の2つを柱としております。地域商社事業につきましては、地域の優れた産品を国内外に発信しまして実際に販売していくという事業でございます。山形県内で製造された工業製品を中心に取り扱いをおこなっていく予定です。またコンサルティング事業につきましては、いわゆる経営コンサルティングや人材紹介、ビジネスマッチングなどを展開していく予定です。

当社の特色ですが、地域商社を営む会社であることということ、山形銀行100%の出資であること。こちらにつきましては、銀行業高度化等会社という位置付けで、後にも先にもまだ出てないんですけども、関係当局より設立許可を取得したと。具体的に言えば金融庁と公正取引委員会というところでございます。

あとは最後に、地域商社事業とコンサルティング事業を兼営する会社ということになります。今全国で立ち上がっております地域商社ございますが、こちらは5%出資の会社がほとんどでございまして、銀行であったり地域の民間の企業であったりというふうなことで銀行が100%出資しているという企業はまだ今のところ無いというような状況でございます。新聞等によりまして岩手銀行が考えていたりとか、静岡銀行が5%ですけどつい先日取得したりということで、今まさに金融機関が地域商社を立ち上げる。来年なんか非常に多分多くなってくるんじゃないかなと思っておりますけれども、そういった会社でございます。

具体的な事業内容についてご説明をさせていただきますと、地域商社事業は4つの事業を想定しておりまして、トレーディング、マーケティング、ブランディング、ライセンスビジネスということで想定をしています。この中でも、トレーディングはいわゆる商社事業になるわけですがけれども、いわゆるブランディング、大手の広告代理店とももちろん連携をしたいと思っておりますけれども、最近ですと、クリエイティブ経営とか、そんなキーワードが出ているかと思っておりますけれども、動画を使った企業の見せ方とか、そういったものが今注目されておまして、ブランディング戦略なんていうのが非常に重要なことと思っております。

トレーディング事業につきましては、山形県の魅力ある産品を実際に仕入れて、TRYパートナーズが国内外に販売していくというビジネスモデルです。

成長戦略プロジェクトということとの連携を実はTRYパートナーズ進めていきたいと考えておりまして、新聞報道でも話題になった事案でございますが、こちらは、米沢・飯豊のプロジェクトでございまして、山形大学と飯豊町、山形銀行が進める飯豊電池バレー構想でございます。飯豊電池バレー構想は、リチウムイオン電池を中核とした産業集積事業でございまして、これまで交流人口の拡大や地域での雇用創出、人材育成といった課題に対して3者で今連携して取り組

んできた事案でございます。こちら、山形大学の蓄電デバイス部門で2012年からリチウムイオン電池の主要部材であるセパレータという部材があるんですけども、こちらの研究が活発になっておりまして、実際高機能セパレータの開発の実現が、今いる状況でございます。これを製品化して、地域雇用創出するために2020年度中に、今飯豊町がセパレータ工場の整備を進めている事業に我々も連携してまいりたいと考えております。飯豊町につきましては、3者連携で山形大学と飯豊町と山形銀行でこのパレー構想を動かしてきてるわけなんですけれども、飯豊町は単独で、今20億円をかけて町に工場を作っております。その作った工場をセパレータデザイン株式会社という民間の会社が飯豊町から建物を借りて、そこで量産化されるセパレータをTRYパートナーズが仕入れて実際販売をしていくというモデルでございます。

もちろん商社事業を銀行員誰もしたことがないというところもありますので、昨年10月から、機械系の専門商社に山形銀行の行員を1名、派遣しまして、商社業務を学ばせるなど準備を進めている状況です。

続きまして山形大学と連携をした事案でして、山形大学の時任研究室という研究室があるんですけども、こちらと、フューチャーインク社というベンチャー企業が立ち上がってまして、大学内のベンチャーなんですけれども、薄型センサーと呼ばれるいわゆるベッドセンサーですね、介護・医療系のベッドに敷くセンサーなんですけども、プリントデバイス技術を活用して、下敷きぐらい薄い物をマットの下に敷いただけで、患者さん、介護をされる方が、起きてるか寝ているか、今どういう眠りに入っているか、レム睡眠かノンレム睡眠かっていうものを、このシート1つでセンサーで分かるという物でございます。こちらについては、アプリの部分でNDソフトウェアさんと連携して、山形大学とフューチャーインク社と開発した商品になっておりまして、こちらを介護関係、あとは医療施設等に販売してまいりたいと考えております。

あとはもう1つ、鶴岡の事案でございます。こちらはバイオ関係の企業が鶴岡にはベンチャー企業として立ち上がってるんですけども、株式会社メタジェンという会社があります。こちらは人間の便を使って腸内環境、人それぞれの腸内を判定するキットを開発しております。もちろん大腸がん等々も分かるようなキットでして、私も初めて分かったことなんですけども、よくヨーグルト食べると腸内が良くなるんじゃないかと騒がれてますけども、やっぱり人それぞれ腸内環境というものは違うらしくて、ヨーグルトを食べないほうがいいっていう方もいらっしゃるということで、そういった人それぞれの腸内環境を判定してそれに合った、例えばサプリであったり食事であったりっていうものを提供していきたいという考えのお会社様でございます。こちらのビジネスを我々がお手伝いをさせていただければと思っております。

次にコンサルティング事業につきましては、経営コンサル、人材コンサル、ビジネスマッチングということで、ここでご紹介したのは、人材コンサルにつきましては今有料職業紹介を

山形銀行で許可を取ってやってるわけですけども、いわゆる人材紹介ですね、こちらをTRYパートナーズで厚生労働省のほうに申請してございまして4月1日から山形銀行でやってるものをTRYパートナーズで移行してやってまいります。単なる人材に終わってしまいますと人を紹介して終わりという形になってしまうんですが、経営コンサルティングと合わせると、例えば人が欲しい理由として、離職で人が欲しいのか増産で人が欲しいのか、ただ人が欲しいというニーズをお会社が抱えている経営課題に絡めながら、人材のコンサルと経営のコンサルを合わせてやっていきたいと思っております。

先だって私東京に、人材会社のほうにいろいろと連携のところで行ってまいりましたが、今人が欲しいってどこの企業さんもおっしゃると思えますけれども、今国では、令和元年度の補正予算で、先導的ビジネスマッチング事業ということで10億円の補助金を組んで、地域に対する人材の動きをしてほしいってことで補正予算を組んでます。中身といたしましては、ハイクラス、いわゆる管理職の人間を、地方だけではなくて都心部からどんどん送って地方にも、地方だけでは人が集まらないものに対して、国が率先的に補助金を使って支援したいということらしいんですけども、その中で、副業・兼業というキーワードがありまして、山形県ではまだ副業・兼業というキーワードがなかなかないかと思えます。ただ人が欲しいとか採用したいということなんですけど、恐らく来年度につきましては全国的にその副業・兼業のニーズが非常に高くなっていくということで、都内の大手の上場企業ははじめとして大手企業の約半分の企業様が既にもう副業・兼業を許可しているということでございます。残念ながら山形銀行もまだ副業・兼業は認められておりませんが、いわゆる人を採用するだけではなくて、副業・兼業、都市部にいる人間の、ハイクラスな人間の、持っているノウハウを副業・兼業を使って、採用することなく地方でも企業の皆さまのお手伝いをしてほしいという中身で、多分来年度はキーワードとして副業・兼業というものが出てくるんじゃないかなと思っております。

コンサルティングということでいろいろ申し上げましたが、4月1日の開業を目指してやってるところですが、知見があるわけではございませんので、公益財団法人の日本生産性本部様から熟練したコンサルタントを当社に派遣いただいております。今準備を進めております。その方からは当社コンサルタントの経営のほか、実際にお客様のところへサービスの提供ということで一緒に担っていただくという方向で考えております。

2020年の開業するべく準備を進めてまいりますが、5年後の2024年度には、先ほどのセパレータの部門の商社を含めて、売上高を30億円超に計画しているということでございまして、まだまだ設立したばかりの会社で乗り越えるべきハードルは非常に高いと思っておりますが、地域の皆さまからご指導をいただきながら、ご期待に添えるよう努めてまいりたいと思っておりますので、ぜひTRYパートナーズ株式会社、お引き立ていただきますようよろしくお願いいたします。

<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (3/2)	94名	55名	修正出席 (2/3)	94名	87名	83名	95.40%
メイクアップされた会員	(山形中央) 酒井 啓孝、高橋 勝治、小松 公博、半田 稔 (山形東) 武田 博文、伊藤 歩 (山形北) 鈴木 隆一、武田 博文						